

# 漢人あきこの 市議会レポート No.122



- 市民自治こがねい 小金井市本町2-19-36 Tel/Fax 042-316-1619
- 小金井市議会 みどり・市民ネット 本町6-6-3 Tel.042-383-1111

市民交流センター  
買う？買わない？

9月議会は昨年度の決算審査もある長い議会です。可燃ごみの処理委託先や市民交流センター取得と住民投票をめぐる動きなど重要課題も山盛りです。

大事なことは

## 「住民投票」で

小金井では2009年3月に議員提案で、「市民投票制度」を作りました。有権者の13%以上の署名が集まれば議会や市長の意思に関係なく必ず実施するという画期的な内容です。

ところが、「市民交流センター取得の是非は住民投票で決める」と公約した佐藤市長が、その具体化にむけて手続きを進めているのに、みどり・市民ネット以外の議員は反対のようです。理由は概ね「重要な判断を市民に丸投げするのは無責任」というもの。もっと早くに行うべきではありましたが、大事な問題だからこそ、今からでも、十分な情報提供のもとでの住民投票が必要です。

この夏、元鳥取県知事の片山総務大臣と、元我孫子市長の福嶋消費者庁長官の講演と対談を聞く機会がありました。お二人の「代表民主制の補完としての住民投票をもっと取り入れて、市民自治・市民主権の強化を」という主張に大賛成です。

### 第3回 定例会 8/30~10/4

主な議案

#### ● 一般会計補正予算 6億6500万円の増額

- 歳入 前年度繰越の追加 5億円  
地方交付税 1億
- 歳出 基金（財政調整3億、庁舎1、環境1、都市再開発1） 6億  
第4次男女共同参画行動計画策定支援委託料／放射能分析検査委託料

#### ● 2010年度決算

一般会計は10億円、特別会計を合わせると11億円の黒字。単年度では一般会計が5億円の赤字です。市税収入は前年比4億円2%の減。

### 議会の日程

- 8/30(火)31(水)9/1(木)本会議
- 9/2(金)5(月)6(火)7(水)一般質問
- 8(木)議会運営委員会
- 9(金)厚生文教委員会 \*詳しくは  
議会事務局へ 042-387-9947
- 12(月)建設環境委員会
- 13(火)総務企画委員会
- 14(水)予算特別委員会
- 15(木)ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 16(金)庁舎建設等調査特別委員会
- 20(火)本会議予備日
- 22(木)本会議
- 27(火)28(水)29(木)30(金)決算特別委員会
- 10/4(火)本会議

### 漢人の一般質問 9/7(水)午後2:00頃～

#### ① 「個別外部監査制度」を導入し、 前代未聞の市民交流センター経過の検証を

監査機能の独自性・専門性と、行政の透明性の向上をはかるための「個別外部監査制度」の条例化を求めます。八王子市や町田市でも導入しています。また、複雑な市民交流センターの経過の検証には「個別外部監査」の活用がふさわしいのではないのでしょうか。

#### ② 官製ワーキングプアの改善を急げ

非常勤職員の待遇改善の現状と実施予定、公契約条例の2012年度制定に向けたスケジュールなどを確認し着実な実行を求めます。

やっと  
成立！

## 再生可能エネルギー買取法

3月11日に閣議決定されていた「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が、8月26日の参議院で可決し成立しました。

たった1%の日本の再生可能エネルギー普及のため、再生可能エネルギーで作られた電気の買取価格を保証して普及を促す「固定価格買取制度」の成立です。

大きな一歩ではありますが、政省令に委ねる事項が多く、実効性については安心できるものではありません。

今後、「脱原発」にむけた導入目標の明示、適切な買取価格と期間の設定、産業向けの負担軽減措置の悪用防止と電力多消費産業の情報公開、再生可能エネルギーの優先的接続の確保、関連制度の整備などを確実に実行させていくことが必要です。

## 小金井市の放射能測定室が 全国モデルに！

小金井市では、チェルノブイリ事故後20年以上、私も参加する市民団体の協議会が、市が維持管理する放射能測定器を使って、市民の申し込む食品の放射能を測定し、測定結果を発表しています。↓参照 <http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com>

消費者庁が食品の放射能測定器を自治体に貸与することになり、8月10日、審議官による小金井の測定室への視察がありました。311以降の緊急の測定体制は供給・生産者側からのもので、消費者の不安やニーズに対応できていないとの認識で、必要な測定機能や、市民による測定活動の現状について、詳しく聞き取りをされました。内部被ばく低減のための長い取り組みが始まっています。

チェルノブイリ後のヨーロッパでは、市民による放射能測定活動が、食品業界や国の原子力政策を動かす一つの大きな原動力となりました。

1960年生れ/緑町在住  
建設環境委員/議会運営委員/庁舎建設等調査特別委員  
市民自治こがねい共同代表/みどり三多摩共同代表/みどりの未来運営委員長



## 国政も市政も 政争から政策議論へ

前向きな議論がされる  
開かれた議会をつくりたい！

4月の選挙で市民は新しい市長を選びました。でも、議会構成は2年前の選挙のままです。

それぞれ直接の選挙で選ばれた市長と議会が、それぞれの機能を生かして、より良い市政をめざすのが憲法が定める二元代表制ですが、選挙の時期がズれている小金井市では、常に反映される市民意識にもかなりズレがあり、複雑です。

市長選後の議会は、ほとんどの議員が発言するなど歓迎すべき変化もありますが、その内容は同じ質問の執拗な繰り返しだったり、副市長人事を認めないなど、ごみ問題や市民交流センターなどの重要課題よりも、市長の動きを縛ることを優先するかのようです・・・。

いま、「議会」に何が求められているのか、一緒に考えてください！

■公開・議員研修会 ■市民の参加大歓迎！

日時: **10/12** (水) 午後7時～9時

場所: 市役所本庁舎3階 第1会議室

講師: 廣瀬 克哉さん 法政大法学部教授  
自治体議会改革フォーラム代表

テーマ: 議会基本条例の意義と役割

\*小金井市議会では議会基本条例を策定中です。

■漢人あきこと片山かおるは、市民グループ「市民自治こがねい」と一緒に活動しています。市民による政策提言や問題提起をすすめる誰でも参加自由の集まりです。季刊「散歩だより」最新号は「311後の私たちの暮らしと未来」特集

■議会では「みどり・市民ネット」という会派をつくっています。「市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現のために市民にわかりやすく開かれた議会をめざし、地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化」「それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重」などを基本姿勢としています。